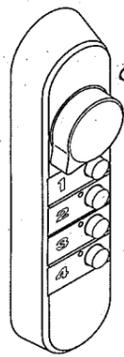


# 勝手口ドア ボタン錠

## 取扱説明書（お施主様向） 保存版

本取扱説明書は施工完了後、お施主様にお渡しください。  
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



防犯上、定期的に暗証番号の変更をされますようおすすめ致します。

### ＜暗証番号の記録＞

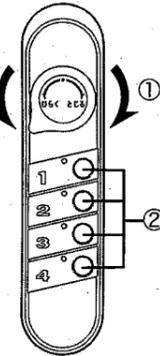
	室外側				室内側			
ボタンNo	1	2	3	4	1	2	3	4
年月日								
年月日								
年月日								
年月日								
年月日								

### □基本の操作

#### 施錠

①「とじる」方向に  
ロックターン(サムターン)を  
回しきります。

※デッドボルトが固定されます。  
開扉できません。



#### 解錠

①リセットします。  
「とじる」方向に  
ロックターン(サムターン)を  
ゆっくり止まる位置まで回しきると、  
リセットできます。

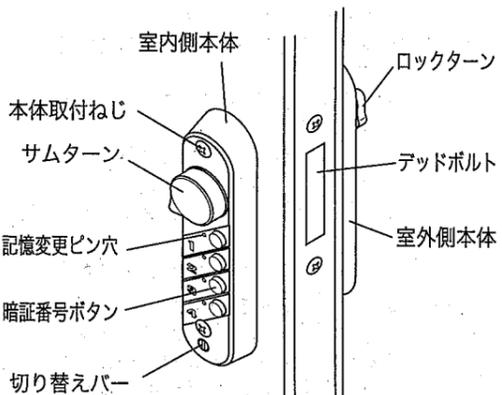
※誤操作、イタズラ回避のため、必ず  
①リセットしてください。

②暗証番号を入力します。  
ボタンは奥まで確実に押してください。

※ボタンを押す順番は自由です。  
※暗証番号を押し間違えた時は①から  
操作し直して下さい。

③「ひらく」方向にロックターン  
(サムターン)を回すと  
デッドボルトの固定が解除できます。

### □各部の名称及び操作方法



※本イラストは右吊り元の仕様です。

※表示シールと操作が合っている事を確認してください。

「ひらく」の方向はデッドの固定解除。→ 解錠  
「とじる」の方向はデッドの固定。→ 施錠  
(リセットの役目もあります)

本品は、暗証番号ボタン操作と、  
ロックターン、サムターン操作にて  
施解錠を行ないます。

※出荷時暗証番号は設定されてい  
ません。

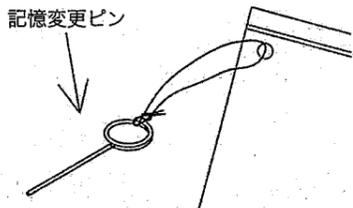
(設定は裏面の「暗証番号新規設定手順」  
に従って設定してください。)

ロックターン、サムターンを回し  
デッドボルトがスムーズに作動す  
る事を確認してください。

### □暗証番号設定時の注意と必要なもの

#### ① 記憶変更ピン

※暗証番号設定及び  
暗証番号変更の時に使用します。



#### ② マイナスドライバー

※暗証番号変更の時切り替えバーの操作に使用します。

#### ③ プラスドライバー

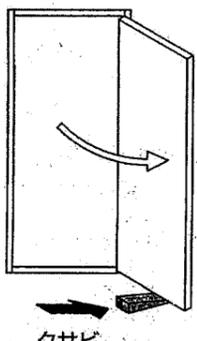
※もしもの時に本体を取り外す時に使用します。

#### ④ クサビ等

※暗証番号設定・暗証番号変更

もしもの時にドアの扉開閉固定に使用します。

暗証番号の設定・変更をする時は、必ずドアを開いた状態  
にして(クサビ等で固定)室内外とも行なってください。



### 注意 危険防止の為に以下をお読みください。

#### ■取付ねじのゆるみ

・各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為  
定期的に増し締めしてください。

#### ■他の用途への使用

・ロックターン(サムターン)にぶらさがったり、  
足場にしたり、物を掛けたりしないでください。  
危険です。

#### ◆操作上の注意 (故障の原因となります)

・製品の分解、改造はしないでください。  
・デッドラッチ、デッドボルトを突き出させた状態  
で扉を閉めないでください。  
・ボタンを押しながら、ロックターン(サムターン)  
の操作をしないでください。

#### ◆永くご使用頂くために

・錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。  
・表面の手入は柔らかな布で拭きしてください。  
汚れのひどい場合は中性洗剤を使用してください。  
水をかけて丸洗いする事は、さけてください。  
・製品の動作部に塗布している油分が、使用当初や  
長期間使用されなかった後などには多少固くなり  
動作が鈍くなる場合がありますが、故障ではあり  
ません。何度か操作されるとスムーズに動くよ  
うになります。

### □暗証番号について ・室外・室内別々の暗証番号の設定が必要です。

・本ボタン錠は「そのボタンを何回押すか」を認識し解錠します。  
1～4のボタンを押す順番は関係ありません。  
暗証番号とは「どのボタンを何回押すか」を基に説明しています。

例1：出荷時の状態

ボタンNo→ 1 2 3 4

0 0 0 0

※どのボタンを押さなくても解錠出来ます。

1 2 3 4

例2： 2 0 0 3

#### 解錠方法

1のボタンを2回押す

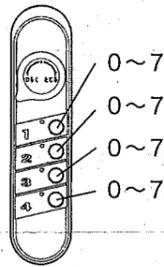
2のボタンは押さない

3のボタンも押さない

4のボタンを3回押す

上記操作で解錠出来ます

・暗証番号は各ボタン0～7まで設定できます。(最大各7回まで押せます)



注：0 0 0 0 の設定は空錠

ボタン操作無しで解錠出来ます。

注：1桁の設定は防犯上、好ましくありません。  
2桁以上をおすすめします。

注：7 7 7 7 この設定にはしないでください。

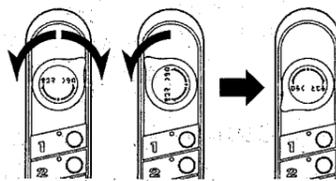
例： 0 0 0 1    0 7 0 0    3 0 0 0 NG  
1 0 0 1    0 7 0 1    3 1 0 0 OK

### □「安全装置機能」とは

ロックターン、サムターンを強引に(暗証番号操作せず)  
不正解錠を行なうと「安全装置」が働き  
ロックターン、サムターンが空転します。  
右図の様な位置になった時には  
回転させ正常な位置に戻してください。

#### 安全装置作動時

#### 正常時



### □補足 電話番号などの番号(ボタンNo)通りにボタンを押したい場合

例：ボタンNo 4-1-3-4 と押して解錠させたい時は

「どのボタンを何回押すか」を確認します。

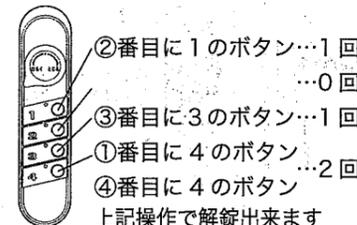
4-1-3-4

押すボタンの回数を確認

ボタンNo→ 1 2 3 4

押す回数→ 1 0 1 2

暗証番号は 1 0 1 2 と設定します。



②番目に1のボタン...1回

...0回

③番目に3のボタン...1回

①番目に4のボタン...2回

④番目に4のボタン

上記操作で解錠出来ます

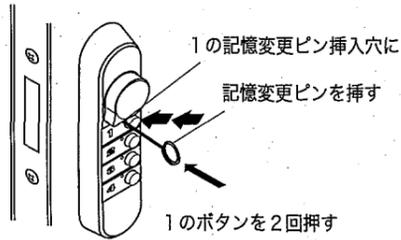
**暗証番号新規設定手順** 注：必ず扉を開いた状態で行なってください。

例：室外に2003を設定する例で説明していきます。  
注：設定する暗証番号は必ず裏面（暗証番号の記録）欄に記入してください。

① 施・解錠操作確認

出荷時暗証番号は設定されていません。0000  
ロックターン、サムターンを「とじる」の方向へ回転し、デッドボルトが出る事を確認してください。「ひらく」の方向へ回転しデッドボルトが戻る事を確認してください。

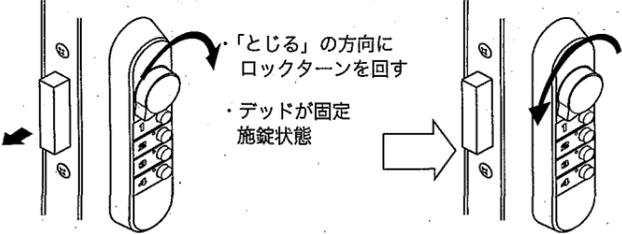
② 暗証番号の設定 [1のボタン]



- 2-1: 記憶変更ピンを用意してください。  
2003の暗証番号を入力するために [1のボタン] に 2を入力します。
- 2-2: 記憶変更ピンを1のボタンの隣の挿入穴に押し強く確実に押し込みながら、1のボタンを2回押します。(1回ずつ確実に押してください)
- 2-3: ピンを抜く。1のボタンに 2003の 2が入力されました。
- 2-4: [1のボタン]登録後、下記③、④の確認を必ず行ってください。

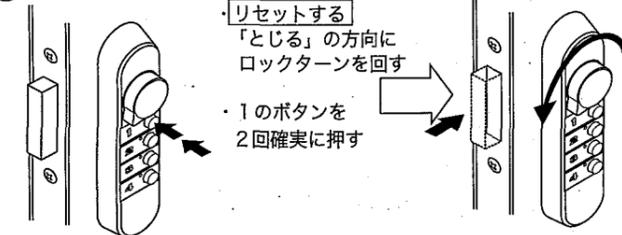
※本イラストは右吊り元の仕様です。

③ 施錠の確認



- ・「ひらく」の方向にロックターンを回す
- ロックターンが回らない…OK
- ④へ進む
- △ロックターンが回る  
デッドボルトの固定解除…NG
- ②をもう1度行う

④ 解錠の確認



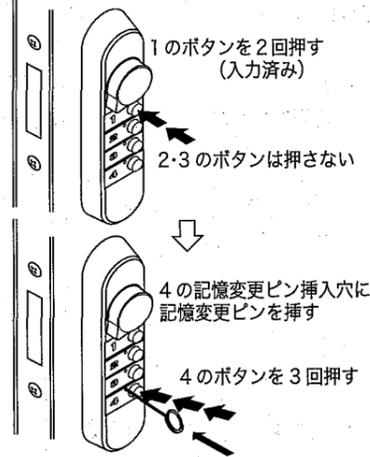
- ・「ひらく」の方向にロックターンを回す
- ロックターンが回る  
デッドボルトの固定解除…OK
- ⑤へ進む
- △ロックターンが回らない  
デッドボルトが固定状態…NG
- もしもの時へ進む

※ [1のボタン] に 2003の 2が入力されました。

次に進む前に

- ※1度入力し、ロックターン、サムターン操作をすると、入力した暗証番号操作を行なわないと次の入力操作は出来ません。
- ※1度に1～4のボタンを同時に入力する事も出来ます。

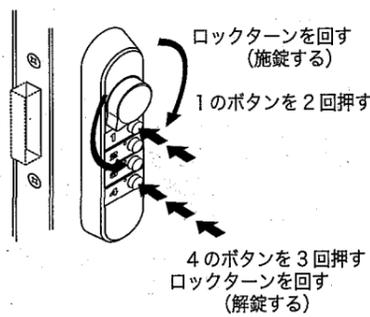
⑤ 暗証番号の設定 [2～4のボタン]



- 5-1: 既に入力された1のボタンを2回確実に押してください。
- 5-2: 2・3のボタンは0設定の為押す必要はありません。
- 5-3: 4のボタンに 2003の 3を入力します。
- 5-4: ②と同様に記憶変更ピンを4のボタンの隣の挿入穴に押し、押し込みながら4のボタンを3回押します。(1回ずつ確実に)
- 5-5: ピンを抜く。4のボタンに 2003の 3が入力されました。

⑥ 施錠・解錠の確認 (③、④と同様の操作)

※現在、入力されている暗証番号は 2003 です。



- 6-1: 施錠の確認をします。  
ロックターンを「とじる」に回しデッドボルトを固定します。
- 6-2: ロックターンを「ひらく」に回し回らない事を確認してください。
- 6-3: 解錠の確認をします。  
1のボタンを2回押す。2・3はそのまま4のボタンを3回押す。
- 6-4: ロックターンを「ひらく」に回しデッドボルトの固定が解除された事を確認してください。

⑦ 以上で 2003の暗証番号が入力されました。

⑧ 室内側も同様の手順で暗証番号を設定、入力してください。

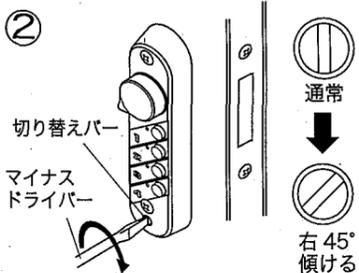
**暗証番号変更手順** 注：必ず扉を開いた状態で行なってください。

例：暗証番号を変更する時、現在入力されている番号を全て0に戻し再度、新規設定の暗証番号を入力します。

例) 室外の暗証番号を変更する場合  
注：室外 2003 → 0000 → 新規番号  
注：室外側、室内側同じ操作ですが、別々に行なってください。

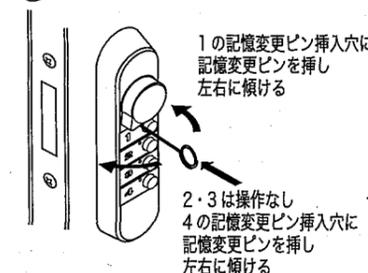
① 現在入力されている暗証番号 2003 を押し入力します。

※暗証番号を入力しないと変更出来ません。



- 2-1: 室外側をそのままにし（ロックターン操作をしない）室内側に移動します。
- 2-2: マイナスドライバーを用意し室内側本体下部の切り替えバーの溝を左図の様に右45度に傾けます。
- 2-3: そのままにし（ドライバーは抜きとってください）室外に移動します。

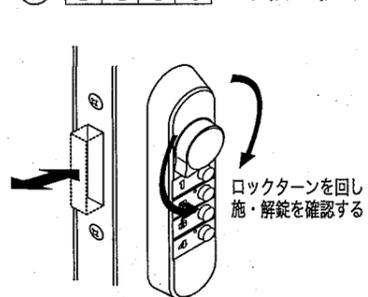
③ 0の設定



- 3-1: 1のボタンの隣の挿入穴に記憶変更ピンを強く確実に押し込み押し付けながら、左右に傾けてください。  
2 → 0
- 3-2: 2・3のボタンは 00 の為そのままです。
- 3-3: 1のボタンと同様に4のボタンの隣の挿入穴にピンを押し込み左右に傾ける。  
3 → 0

④ 室内切り替えバーを戻してください。

⑤ 0000の確認 (施解錠フリー)

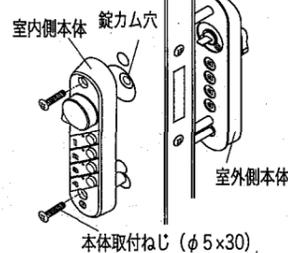


- 5-1: ロックターンを「とじる」に回しデッドボルトを固定する。
- 5-2: ロックターンを「ひらく」に回しデッドボルトの固定を解除する。
- 5-3: デッドの固定が解除できれば OK です → 暗証番号新規設定手順へ進む  
デッドの固定が解除できない、ロックターンが回らない場合  
再度 ① から行なう → NG → もしもの時へ進む

**もしもの時**

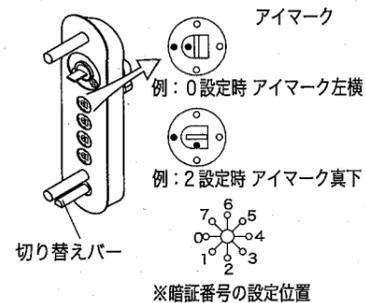
※新規設定時、及び変更時の設定まちがい、又はもしも暗証番号を忘れてしまった時次の手順で本体を取り外し暗証番号の確認をしてください。

① 本体取りはずし



- 1-1: 室内側の取付ねじ2本をプラスドライバーではずし扉から室外、室内の本体をはずしてください。  
注：この時本体（特に室外側）の落下に十分注意してください。
- 1-2: 施錠状態（デッドが出ている時）の場合  
マイナスドライバーなどで錠ケースを操作し解錠してください。
- 1-3: 扉を開けた状態で次の手順に進みます。

② 暗証番号の確認



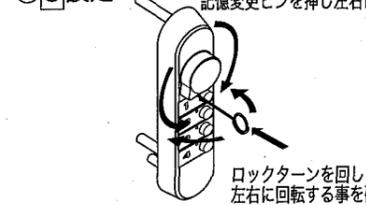
- 2-1: ロックターンを左右に回してください。
- 2-2: ボタン裏に左図の様なアイマークが見えます。アイマーク同士が合った所が0設定（暗証番号設定なし）です。
- 2-3: ボタンを押してください。1回押すごとに右回転にて45度傾きます。
- 2-4: 確認後、ロックターンを回してください。  
アイマークが止まっている位置が現在入力されている暗証番号です。

③ 暗証番号変更時



- 3-1: 0設定以外のボタンを押して全て0にそろえてください。0000
- 3-2: 切り替えバーを右へ回し45度に傾ける。  
注：室内側本体は左へ回してください。

④ 0設定



- 4-1: 本体を表側にし全てのボタンの隣の挿入穴に記憶変更ピンを挿入し強く押し込みながら左右に傾けてください。ピンを抜きます。
- 4-2: 本体を裏側にし切り替えバーを戻します。
- 4-3: ロックターンが左右に回転することと本体裏面のアイマークが全て0の位置になったことを確認してください。  
0000になりました。  
※ならない場合は②暗証番号の確認へ戻る。

⑤ 本体扉へ取付

- 1. 本締錠のデッドボルトが出ていないことを確認した上で、室外側本体を扉切り欠きに合せて、ツマミを「ひらく」方向に回転させた状態でセットしてください。
- 2. 次に室内側本体をセットします。室外側取付と同じ様にツマミを「ひらく」方向に回転させた状態で錠カム穴にセットしてください。同時に室内切り替えバーを室外切り替えバーにセットします。
- 3. 室外側本体、室内側本体が確実にセットされている事を確認し本体取付ねじ（φ5×30）2本で確実に取付けてください。再度、暗証番号新規設定手順へ